



ガーデンは大にぎわい

定以上の年上の方々からのお話が……と支帆子さん。では、ここで修正を加えて再度コメントを。ホントに若い彼氏を募集中(笑)。

目の登場、前回、彼氏募集中って言ったたら、反響が大きくて。結構、想ドに出ている。二度



左から、支帆子さんと悦子さん。

きれいに咲くバラの前で写真を撮っていたのが田村悦子さん(えつこ)と娘さんの支帆子さん(しほこ)。(出口2)花が好きで、いろんな所へ行っているの。ツツジやラベンダーなんかも毎年見に行くんですよ。

こんなにはばらしいバラを

無料で見せていただけると

のはうれしいけれど、

管理もあるでしょう

から、50円や10

0円とか、有料に

しても皆さんに理

解してもらえん

じゃないかしら

と悦子さん。お二人

は実は、田代の商工祭

のときにもあつてグッ

ドに出ている。二度

歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド

市民の皆さんが
たくさん登場

524人
+再度登場2人

82,029人
(H20.6.1現在)

「あつてグッド」は、歩いて行くの方言「あつてえぐ」と会って良かった(グッド)を掛け合わせもじったものです。

会場では、ちょうどバラコンテストが行われていて、入賞者が発表されていました。「大輪三花」の部門で、優勝したのが、岸恭司さん(きょうじ)。(笹館)。「大輪三花」は、その名のとおり、大輪の花三本の美しさを競うもの。バラは5、6分咲きが美しいと言われているので、審査のタイミングに合わせ、美しい状態にするのが難しいと恭司さん。バラを育てるきっかけは、「以前自宅療養していた時期に、たまたまバラの花があつて、毎日見続けていたら、その美しさのとりこになってしまつて。以来、少しずつ数を増やしてるんです。入賞したバラは真紅の「熱情」。カラーで紹介できないのがとっても残念。

故石田博英氏の思いから始まり、全国の愛好者が認めるまでになった石田ローズガーデン。今日も数多くのバラが咲き誇ります。



「大輪三花」で優勝した恭司さん。



恭司さんの「熱情」

バラまつりは、6月22日で終わりましたが、実は、石田ローズガーデンは、秋まで入場できるんです。秋に咲くバラもお楽しみください。